

高齢者・障がい者の
地域見守り活動協定締結

地域一丸となり、高齢者や障がい者を支える社会を推進するため、8月3日、市は新たに5団体と連携協定を結びました。各団体は、業務などで高齢者宅等を訪問する際、異変を感じた場合、市に報告するなどの活動を行います。

【締結団体名】(敬称略)
▷おきに合同会社▷生活協同組合コープながの▷株式会社スズケン長野営業部塩尻支店▷中北薬品株式会社▷明治安田生命保険相互会社松本支社安曇野営業所

これまで24団体・約460カ所の医療機関、介護事業所、区や企業などと協定を締結。宮澤市長は、安心して暮らすことのできる地域づくりへの協力を求めました。



新たに5社と協定を締結

安曇野市総合体育館
ネーミングライツ契約を締結

あづみ野テレビ株式会社と安曇野市総合体育館ネーミングライツ契約を6月30日に締結しました。

契約期間は令和9年3月31日までで、体育館の愛称「ANCアリーナ」のデザインが発表されました。



あづみ野テレビ株式会社と契約を締結

市政トピックス

■市男女共同参画フォーラム2021を開催

市は、性別にとらわれないことなく誰もが活躍できる「男女共同参画社会」への理解を深めようと、7月17日に「男女共同参画フォーラム2021」を開催しました。

心が高まっているジェンダー平等。日本は「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識が根強く、ジェンダー平等の分野で世界に後

SDGsにも掲げられ、関心を取っている状況です。フォーラムでは、事前に募集した「育メン・家事メンフット&エピソード」の報告会が行われ、参加した男性陣からは「男だから、女だから、



育メン・家事メンによる発表

ではなく、育児も家事もできる人がやれば良い」、「手伝うという感覚ではなく、一緒に楽しめたら」などといった声が聞かれました。参加者はその後、県主催講座をオンライン視聴し、男女平等に向けた取り組みを学びました。

■新たな子育ての拠点 「穂高北部児童館」起工

穂高北部児童館の移転新築工事の起工式が7月30日、穂高北小学校南側隣接の建設地で行われました。

昭和50年に建設された現在の施設は老朽化が進み、耐震にも課題があったことから、検討会などで議論を重ね、今回の移転工事を決定しました。

新児童館には、駐車場やグラウンド、図書室、相談室など、どの施設が整備されます。また、穂高北小学校内の児童クラブ室との併用により、放課後児童クラブが6年生まで受け入れ可能となります。完成は、来年3月の予定です。



起工式には関係者40人が出席



新しい児童館の完成イメージ

市政トピックス

昨年のスポーツ功労者をたたえる

安曇野市体育協会 令和2年度表彰

昨年度全国大会などに出場した市出身者、市内高校に所属する皆さんが市体育協会から表彰を受けました。

受賞した皆さん(敬称略、所属は令和2年度当時)

- 功労賞：清澤晴治(市体協軟式野球部)
- 指導者功績賞：【空手道】竹内一真(真武館)、【陸上競技】望月政和(三郷中学校)、官澤真一(堀金中学校)、三代澤芳男(豊科高等学校)
- 栄光賞：日本室内陸上競技大阪大会女子60m6位・北沢菜(豊科高等学校)、長野県高等学校新人体育大会空手道競技大会女子団体組手優勝・山崎朱歩(松本第一高校)、全国高等学校バスケットボール選手権大会長野県予選会



自転車を活用したまちづくり Vol.1 オススメ知識やスキルを紹介!

市は松本大学と連携し、サイクリングによる健康増進効果の検証と健康を学ぶ取り組みを進めています。5月8日・15日に開催した教室では、講師の小林可奈子さんと一緒に市内を走りながら、交通ルールや効果的な乗り方などを学びました。

歩道が走れる標識を覚えよう!

自転車の通行は原則車道ですが、右の標識がある区間では自転車も歩道を走ることができます。この場合、車道寄りの部分を徐行しなければなりません。また、歩行者の通行を妨げるような場合には、一時停止する必要があります。自転車に乗るときは標識をしっかりと確認しましょう。



脂肪燃焼には「軽いギアで長時間」

サイクリングはダイエットにぴったりと言われますが、ちょっとした乗り方のコツがあります。脂肪燃焼には有酸素運動が有効ですが、変速機のギアを重くして乗った場合は筋トレと同様の無酸素運動になってしまう場合があります。軽いギアで長時間自転車に乗った方が、効率的に脂肪燃焼の効果が見込めるそうです。

企画政策経営課企画担当 田中 71・2401

平和への願いをつなぐ

6/25～7/19 「安曇野 戦争と平和展」・巡回パネル展

7月17日から19日に「安曇野 戦争と平和展」(平和憲法を活かす安曇野の会主催)が市役所で開かれ、期間中約300人が訪れました。会場では広島平和記念資料館から借りた原爆の写真や絵、市内の戦争遺跡である有明演習場などの資料約140点が展示され、戦争の悲惨さと平和の尊さを考える機会となりました。

市と教育委員会では、例年8月に平和学習の一環として、各校代表の中学生を広島市の平和記念式典に派遣してきましたが、コロナ禍で2年連続の中止が決定。そこで本年は、若い世代に戦争について考えてもらうきっかけをつくらせようと、6月25日から豊科南・明科・穂高東中学校で、巡回パネル展を実施しました。

